

長岡市長

森 民 夫 様

中心市街地活性化に向けた
厚生会館地区への市役所の配置に関する要望書



平成18年10月3日

長岡市商店街連合会

理事長 佐藤 昭 雄



平成18年10月3日

中心市街地活性化に向けた
厚生会館地区への市役所の配置に関する要望書

平素は私共商店街連合会に対し、御理解・御指導賜り誠にありがとうございます。
ます。

さて此の度、市役所の再配置を検討されるに当たり、中心市街地の機能の一端を担う商店街として、次の様に要望いたします。

JR長岡駅前を中心とした地域は、永らく長岡の中心市街地として市民の皆様に親しまれてまいりましたが、その後、車利用の増加に伴う社会変化と共に、行政施設を始め各種の都市機能が郊外に分散し、中心部が空洞化したことは御存知のことと思います。

このような市域の拡大は経済の発展や人口の増加、そして市民生活の多様化など市勢の伸長に伴う必然でもありました。しかし経済が成熟し高齢化社会の到来と少子化による人口減少の時代を迎え、社会保障など行政経費の増加は従来のような拡大を許さず、また環境問題など新たな取り組みも課題とされ、都市政策は大きな転機を迎える中、多年にわたり築き上げたインフラを活用したコンパクトな街づくりへと向かう流れとなりました。

先般、国も中心市街地活性化を目指し「まちづくり三法」の改正がなされたこの時、行政機能・施設の街なか回帰は誠に時宜を得たものであり、市制100周年、そして市町村合併による新たな街づくりの象徴的事業と言っても過言ではないと考えております。

今回再配置を検討されるに当たり、①交通の利便性 ②利用者の分かりやすさ ③交通弱者を含めた利用のしやすさ 等を勘案すると、公共交通機関の集積するJR長岡駅前地区は長岡の顔として最もわかりやすく、また合併による新たな市民となられた人々に馴染やすいなど、多くの市民にとって便利で利用しやすい所であります。

以上の観点から、厚生会館地区および中心部再開発地区に、市役所を配置することが利用する市民からも、或いはコンパクトな街づくりからもメリットがあり最適な場所であると共に、特に厚生会館地区への本庁舎機能の配置は、中心市街地再生に新たな活路や展望を見出し、中心市街地活性化への先導的事業として期待されます。

つきましては、市民への利便性の提供、並びに中心市街地活性化の両面からも、是非とも厚生会館地区をはじめとする中心部に長岡市役所・本庁舎機能を設置されますよう要望いたしますと共に、私共商店街としましても商業振興に対し共に取り組み、にぎわいに繋がる「魅力ある来たい街」「来やすい街」に向け、最大限の努力を傾注していく所存であります。

なお、市街地整備に伴い、都市の基本的インフラとして駐車場も欠かせない問題でもあります。私共商店街も共通駐車券事業の料金体系も含めた積極的な改善に取り組む所存でおりますので、既存市営駐車場も含め、新設駐車場の整備、改善を併せて要望いたします。